

令和3年度 第1号
長崎県立ろう学校
自立活動部

★ 6月6日は『補聴器の日』です。

- ・補聴器が身近なものになるように
 - ・「きこえ」についての悩みが改善されていくように
 - ・バリアフリー社会の創造に貢献できるように
- という目的で制定された記念日です。

★ どうして6月6日なのか、知っていますか？

- ① 6を2つ向かい合わせにすると耳の形に見える。
- ② 耳の日【3月3日】にもう一つの耳（補聴器）をつけることから3月3日×2＝6月6日なのだそうです。

★本校でも7月5日（月）から7月9日（金）を補聴器ウィークと定め、各学部で様々な取組や展示等の計画を予定しています。※展示期間は変更の可能性があります。

「補聴器の日」マスコットキャラクター



ロロくん



知って得する、電池のはなし

みなさんが日々使っている電池のことを、どれくらい知っていますか？



★補聴器の電池は「空気電池」

「空気電池」とは、空気中の酸素を使って発電する電池のこと。電池に貼ってあるシールをはがすことで、電池の穴から酸素が取り込まれて発電します。だから、シールを貼れば電池の消耗を抑え、長持ちさせることもできます。長時間使わない時は、シールを貼ってもいいですね。ただし、セロテープは空気を通すので×です。

★「空気電池」は「乾燥」が苦手

乾燥した中では、電池の寿命は80%程度に短縮されます。ドライケースにしまう時に電池を外に出すのはそのためです。また、乾燥している冬は、電池の寿命も短くなります。

★シールをはがしたらしばらく待つ

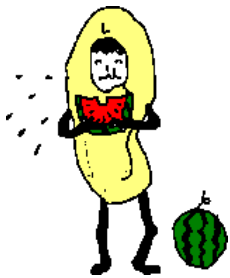
シールをはがしてすぐ使用すると、補聴器の動作が不安定になります。シールをはがしたら30秒ほど待って補聴器に入れてください。

★電池の種類は、シールの色で区別されている

「PR44」(青) 「PR48」(オレンジ) 「PR41」(茶色) 「PR536」(黄色)

自分の補聴器や人工内耳で使う電池の「記号」や「シールの色」は覚えておきましょう。

水や湿気に注意！！



補聴器や人工内耳は、コンピュータ・マイク・スピーカーが内蔵された精密機械であるため、湿気や水濡れには弱いものです。使用した後は乾燥材が入った乾燥ケースに入れましょう。

これから夏に向けて、汗をかきやすい時期になります。また、海やプールに行く機会もあるかもしれませんね。

ということで、今回は湿気や水濡れの対策についてお話します。

★汗をかいたとき 雨に濡れたとき

① やわらかい布やティッシュなどで全体を拭き、水分を吸い取ります。フック・チューブ・イヤーマールドもはずして水分を吸い取ります。電池も忘れずに、抜いて拭きましょう。

② 乾燥ケースに入れてしばらく乾燥させます。ドライヤーの温風で乾かしてはいけません。熱に弱いからです。

※電池（空気電池）は乾燥ケースには入れてはいけません。

乾燥すると電池の消耗が早くなるからです。必ずはずそう！

③ 乾燥したら、音が出ているか確認します。音が出なかったり、いつもと違う音がしたりする場合は故障の可能性があるため、すぐに先生に相談しましょう。



★補聴器や人工内耳を洗濯したとき つけたままお風呂に入ったとき

☆ 汗や雨に濡れたときと同じく、「拭きとり」と「乾燥」を行います。

☆ 汗や雨と違うことは、機械内部まで水分が浸透することです。洗剤やあか、補聴器や人工内耳に付着している皮脂も機械内部に入ってしまう可能性があります。何らかの故障が起きている場合が多いので、先生に報告して故障していないか調べてもらいましょう。

☆ 夏休み期間中など、先生に見てもらえないときは、補聴器はできるだけ早く補聴器店に持っていき、点検を受けましょう。

★海水で補聴器や人工内耳が濡れたとき

① すぐに水道水で洗います。海水に含まれる塩分で、機械内部がさびついてしまうからです。

② 「拭きとり」「乾燥」を行います。

③ 乾燥ケースに入れ、先生か補聴器店に持っていきましょう。

